

森 あやこ

ニュース

Ayako Mori



発行：福岡市議会議員 森あやこ



No.34

2024年 冬・春号

災害に遭われた方々に心からのお見舞い申し上げます。

元旦から石川県能登地方の地震は、石川県をはじめ、新潟、富山、福井県と広域で被害をもたらしました。お亡くなりになられた方々への哀悼の意を表します。一日も早く復旧復興が進み、日常の生活を取り戻せるよう支援協力してまいります。

もくじ

P.1  保健所統廃合

P.3  老人福祉センター

 学校あんしんメール

P.2  自衛隊名簿提供問題

P.4  福岡市の脱炭素支援事業

 市民ネット情報

令和5年5回・6回福岡市議会（定例会）



保健所統廃合 12月 議案質疑

住民の健康に影響する保健所統廃合に反対しました！

突然すぎる議案の上程！ 7つの保健所を一カ所に統合？

各区の医師や保健師の一部を集め、保健所を「あいれふ」一カ所にし、各区に新たに保健センターを配置し、各区保健所運営協議会を福岡市保健所運営協議会に統廃合する条例案を上程。

「あいれふ」の部屋が減らされる分、市民が使えなくなることも問題。

事前に関係機関での議論もされず

市医師会などの3団体が、市と医療機関等との連携や市民の保健サービス等の充実を市に求め「保健所の機能強化に関する要望書」を議会中に提出。

地域医療の弱体化問題 統廃合は逆行

市内全域の感染症や措置入院などの対応を一括で担うとし、指揮系統の一本化では、パンデミック時に迅速に対応できない上、人は育たず弱体化は解決しません。

現場あつての判断、現場あつての人材育成

区ごとの現場だから熟知・周知できる状況があります。いくら迅速でも、国や県や市が正しい判断ではなかったことは、混乱を招いた学校の一斉休校でもわかります。豊富な人材で人を見る、現場を視る、その経験が育成につながります。

人員不足で市民の健康は支えられない

保健所が7カ所あったから大変だったわけではなく、人員不足で、専門性が必要な人材を育てきれなかったことが大きな問題です。統廃合ではなくその部署を増やし、各区の体制強化を図る案なら、市民は納得ですよ！

住民のための体制構築が重要

丁寧さに欠け、市民や議会を無視した進め方に異議を訴え、条例案を取り下げることを強く求めましたが、賛成多数で可決し、今年7月には、各区の保健所がなくなります。機能低下を招かないか、市民の声と共に検証することが必要であり、同時に各区に保健所機能をきちんと置く条例に再検討することが重要です。主権者である市民と共に、



真に人にやさしい、人がやさしいまちづくりを進めることを求め続けます!!

みんなの人権
大事です！

国が自治体に「指示が出せる」仕組みづくりには反対です!!

災害や感染症の想定外の事態が発生した非常時に、国が自治体に「指示が出せる」仕組みづくりを進めようとしています。第33次地方制度調査会の答申に沿った地方自治法改定案は、地方自治・地方分権に逆行しています！非常事態だからと、強制的に人権と地方自治を奪うことに繋がります。